

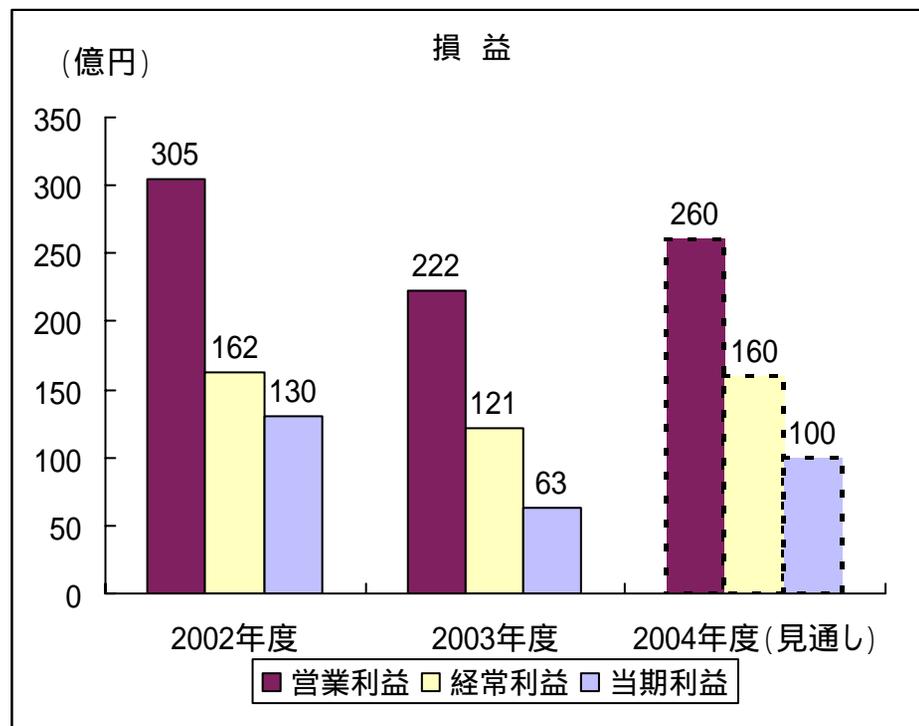
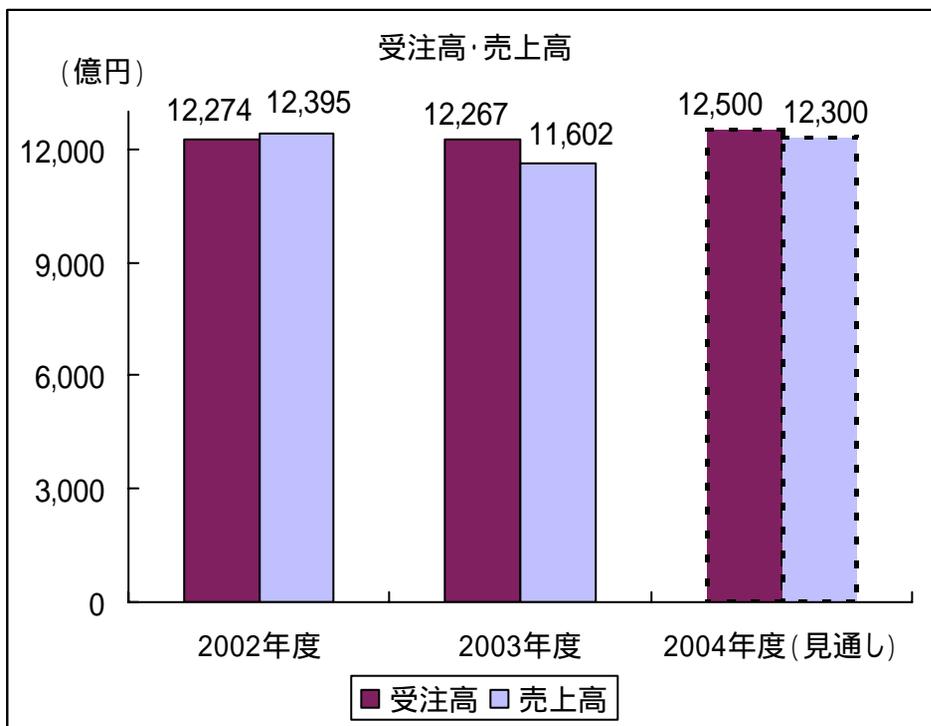
2004年3月期決算説明会資料

2004年5月12日

川崎重工業株式会社



2004年3月期 連結決算の概要



売上加重平均レート	2002年度 (実績)	2003年度 (実績)	2004年度 (前提レート)
ドル(¥/\$)	121	113	105
ユーロ(¥/EUR)	123	133	125

(億円)

	2002年度 (実績)	2003年度 (実績)	2004年度 (見通し)
営業利益	305	222	260
経常利益	162	121	160
当期利益	130	63	100

前年比損益増減要因分析

≡ 営業損益の増減要因(83億円)

為替による影響	100億円
売上減による影響	100億円
不採算案件の減少	+ 60億円
コストダウン・固定費低減他	+ 57億円

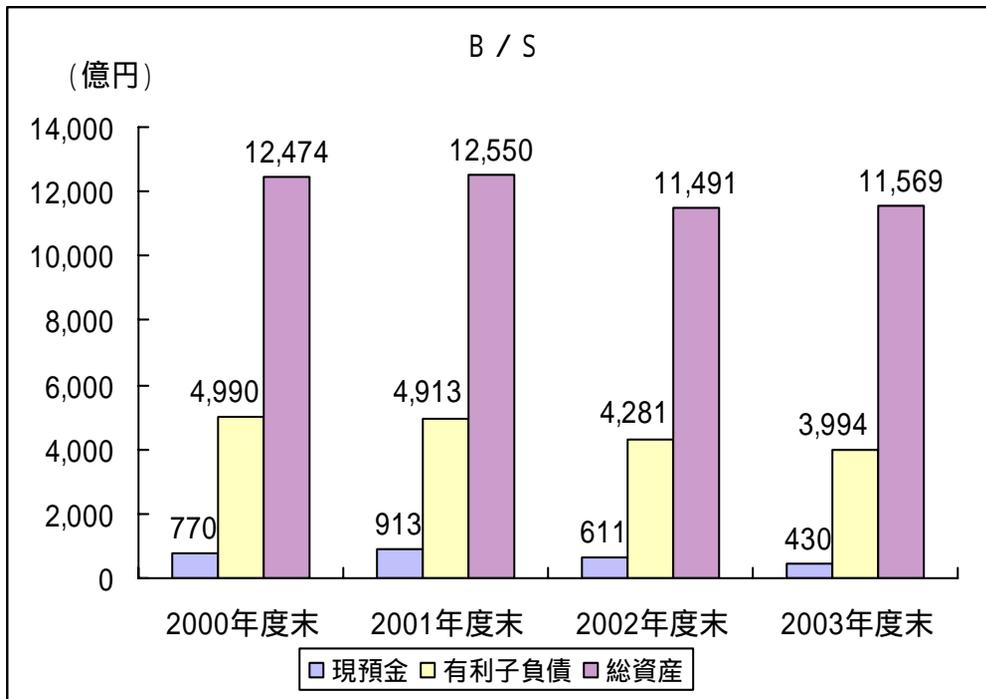
≡ 営業外損益の増減要因(+ 41億円)

金融収支	+ 19億円
持分法適用会社の損益好転	+ 14億円
その他	+ 8億円

≡ 特別損益の増減要因(18億円)

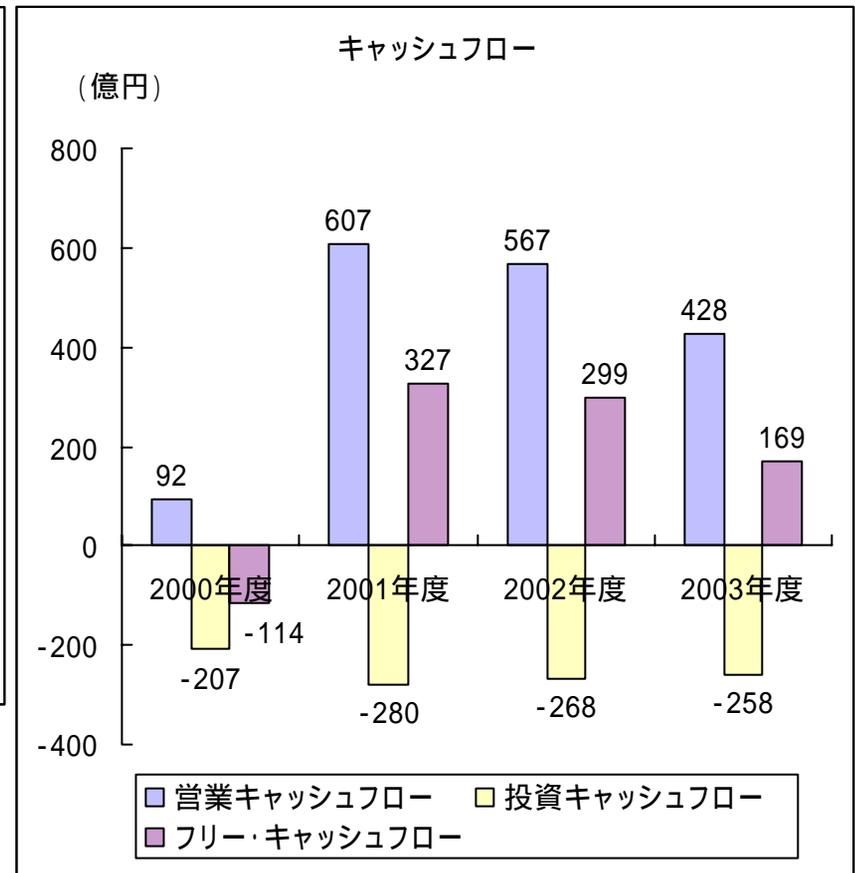
事業構造改善費用(前期 31億円 当期ゼロ)	+ 31億円
固定資産売却益(前期32億円 当期11億円)	21億円
退職給付信託設定益(前期19億円 当期ゼロ)	19億円
工場閉鎖に係る損失	12億円
その他	+ 3億円

有利子負債およびキャッシュフロー



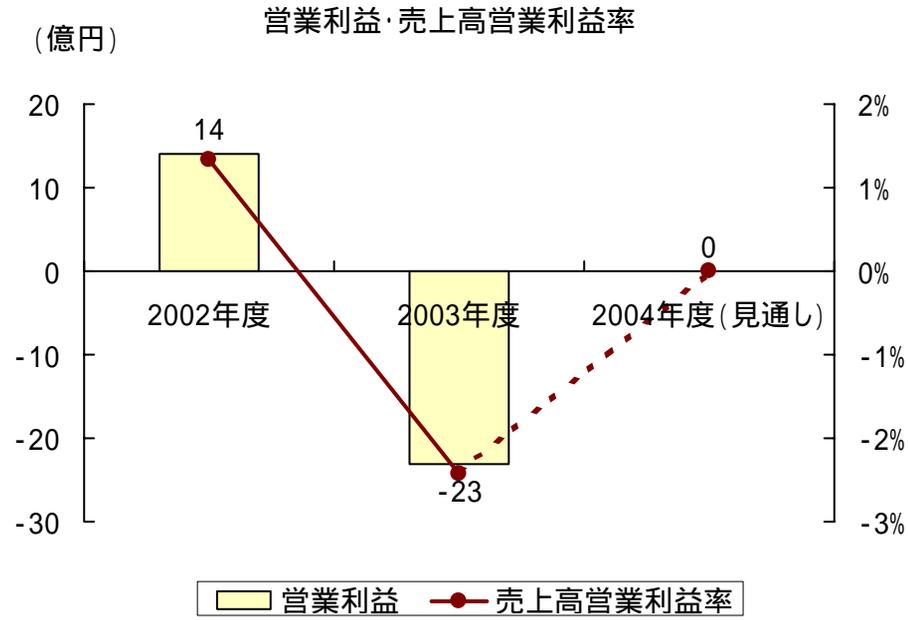
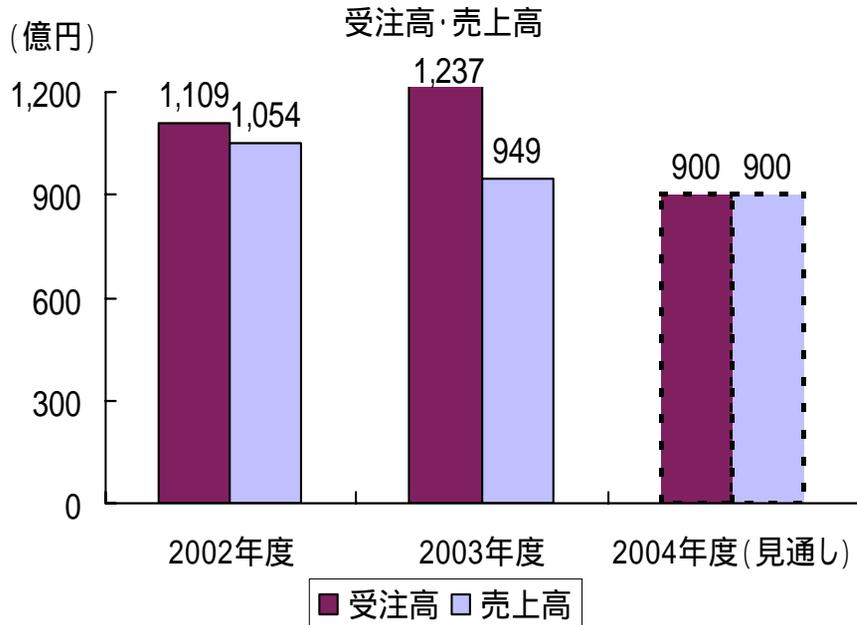
(億円)

	2000年度末	2001年度末	2002年度末	2003年度末
NET有利子負債	4,220	3,999	3,670	3,564
NET D/Eレシオ	257%	238%	210%	187%



* 有利子負債: 売掛回収の促進、在庫圧縮など資金効率の向上を進めたことにより、2003年度末残高は3,994億円と前期末より287億円の減少 (直近3年間で約1,000億円の減少)

船舶



(隻)

	受注		売上	
	2002年度	2003年度	2002年度	2003年度
LNG船	3	3	2(2)	5(3)
LPG船	4	-	8(4)	6(1)
VLCC	-	3	-	-
コンテナ船	-	-	2	-
バルクキャリア	5	13	6	4
潜水艦	-	1	2(2)	2(1)
合計	12	20	20(8)	17(5)

注) 括弧内は進行基準売上(内数)

2003年度実績

- * 中国の景気拡大等による好調な海運市況 受注増
- * 為替の影響による売上減、収益悪化
- * 受注工事損失引当金計上

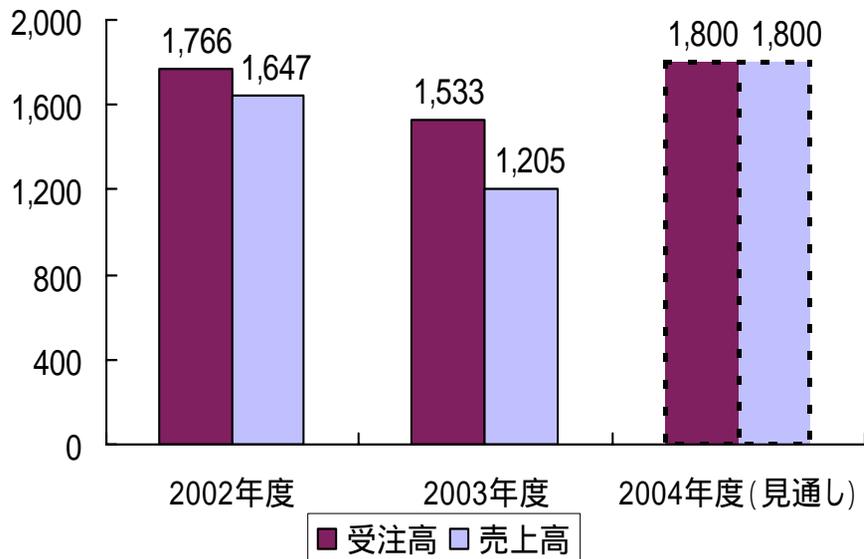
2004年度見通し

- * 選別受注の徹底
- * 為替の影響による収益圧迫(前提レート\$=105円)
- * 一層のコスト・固定費削減による黒字転換

車 両

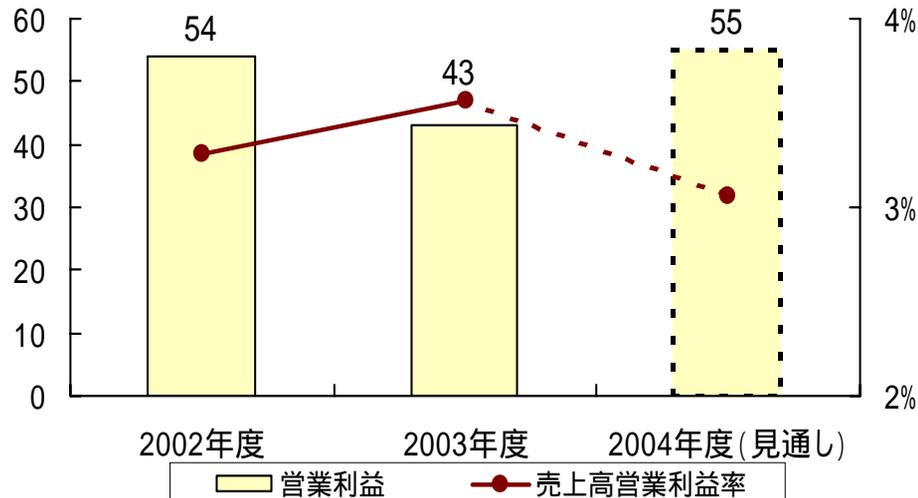
受注高・売上高

(億円)



営業利益・売上高営業利益率

(億円)



2003年度実績

[受注]

- * JR通勤・近郊電車など国内車両の受注減
- * 台北地下鉄の大型受注(321両/約530億円)

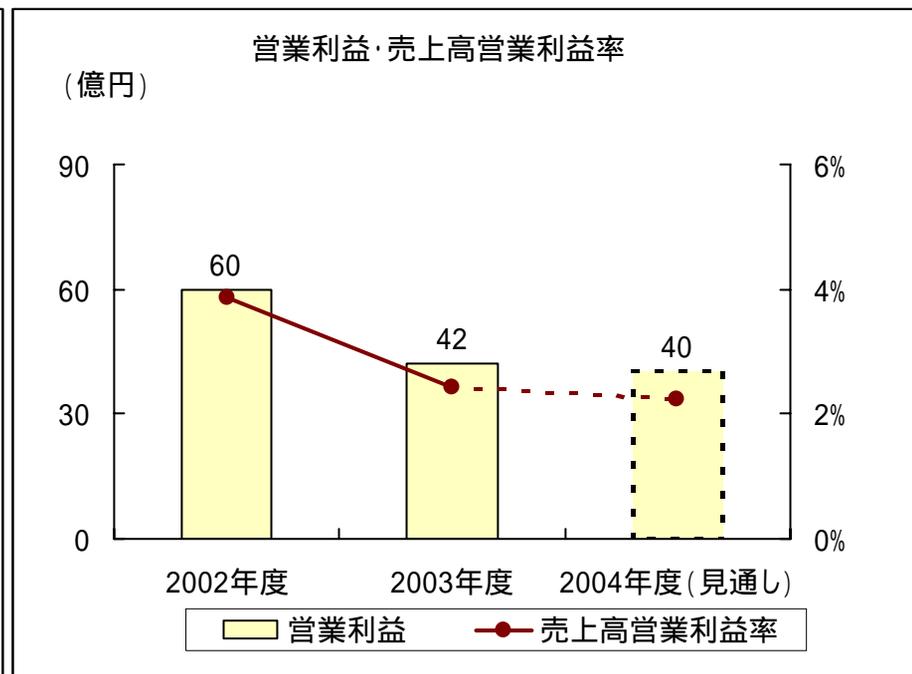
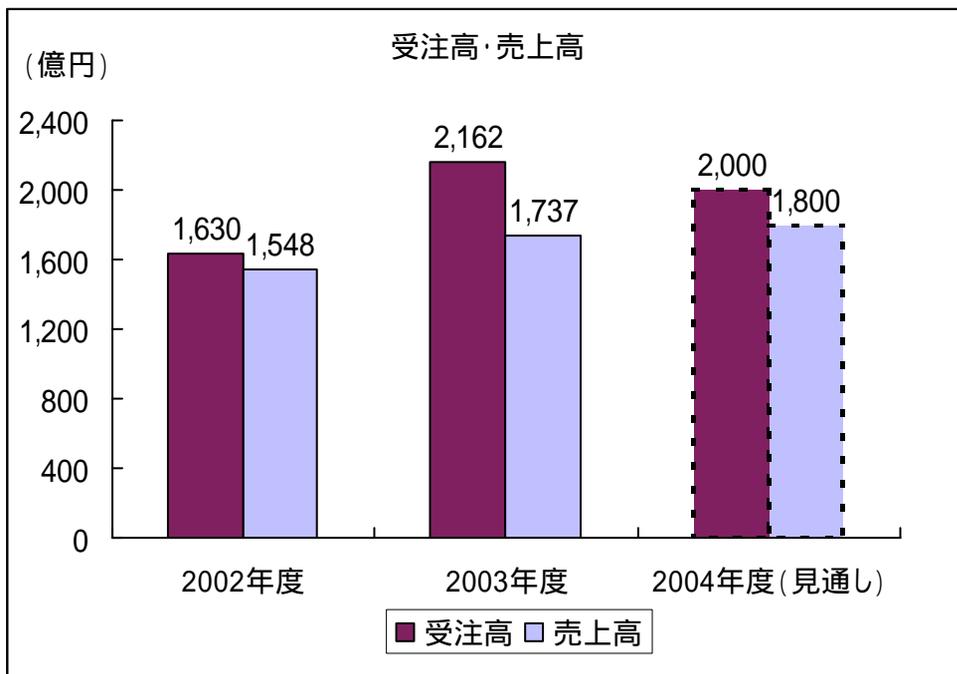
[売上・損益]

- * 海外大型案件の端境期 売上減
- (参考)2002年度の主な海外売上案件:NY地下鉄R142A(190両)の完納及びR143(152両)の納入

2004年度見通し

- * 台湾新幹線やNY地下鉄R142A追加車両など海外案件の本格スタート 売上、利益ともに増加
- * 北米・アジアを中心に積極的な受注展開

航空宇宙



< 民需分担生産品の売上機数 >

(機)

	売上	
	2002年度	2003年度
B777	36	39
B767	31	10
Embraer170	10	36
Embraer195	-	3

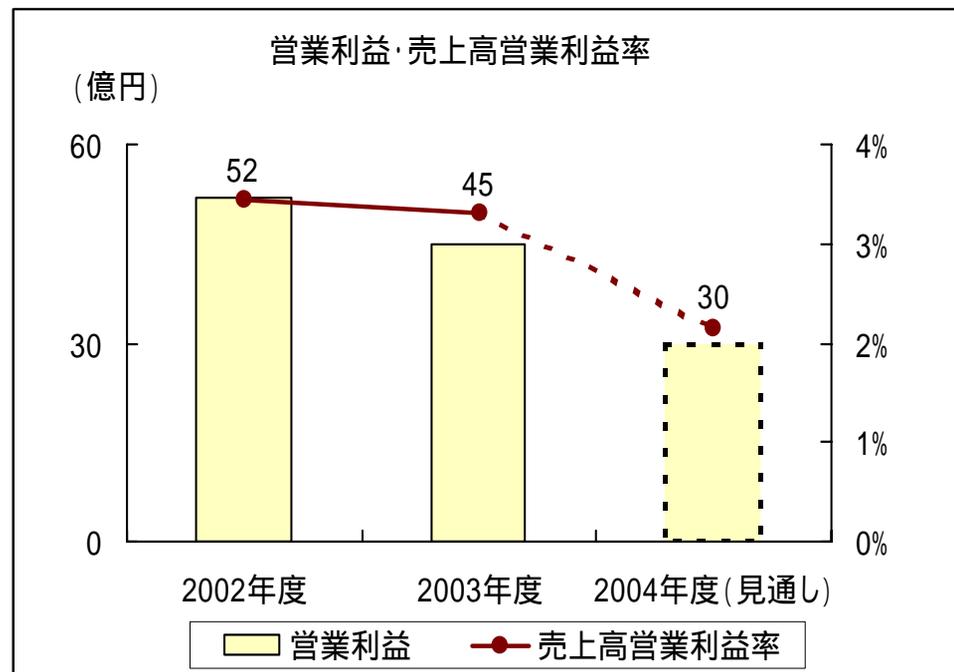
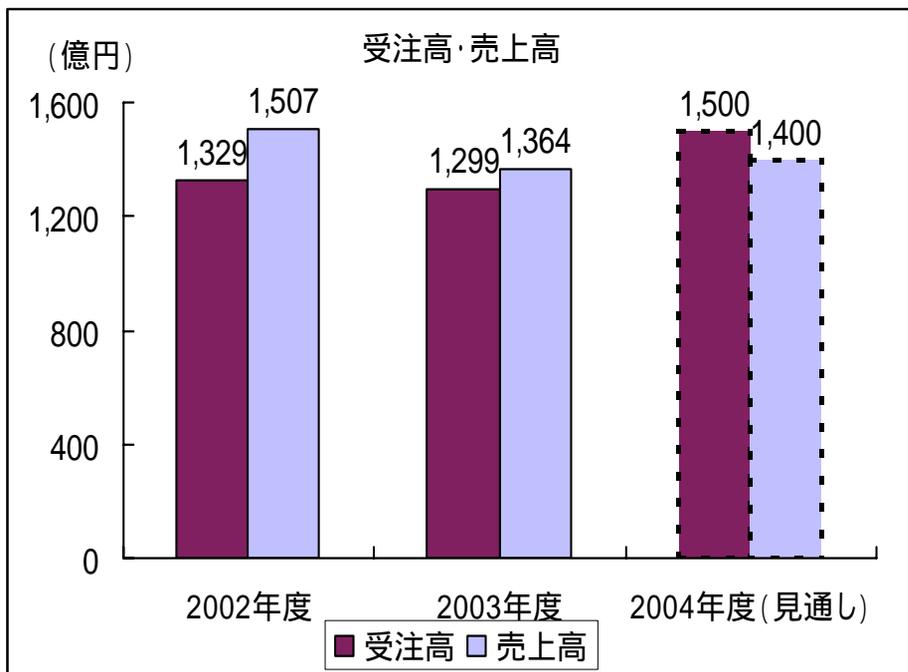
2003年度実績

- * 防需大型機(P-X/C-X)開発の受注拡大
- * 増収減益
 - 増収・日本飛行機(株)の完全子会社化
 - 減益・防衛庁向けT-4中等練習機の納入終了
為替の影響
日本飛行機(株)の経常損失

2004年度見通し

- * 防衛庁向け(P-X/C-X)受注の端境期
- * 防需大型機(P-X/C-X)開発、EMBRAERプロジェクトの売上増
- * 誘導機器システム等の防衛庁向け売上の減少、為替の影響により前期並みの利益

ガスタービン・機械



KAWASAKI PRECISION MACHINERY分を除いている(2003年度よりその他事業に移管)
 [2002年度受注高:249億円 売上高:303億円 営業利益:8億円]

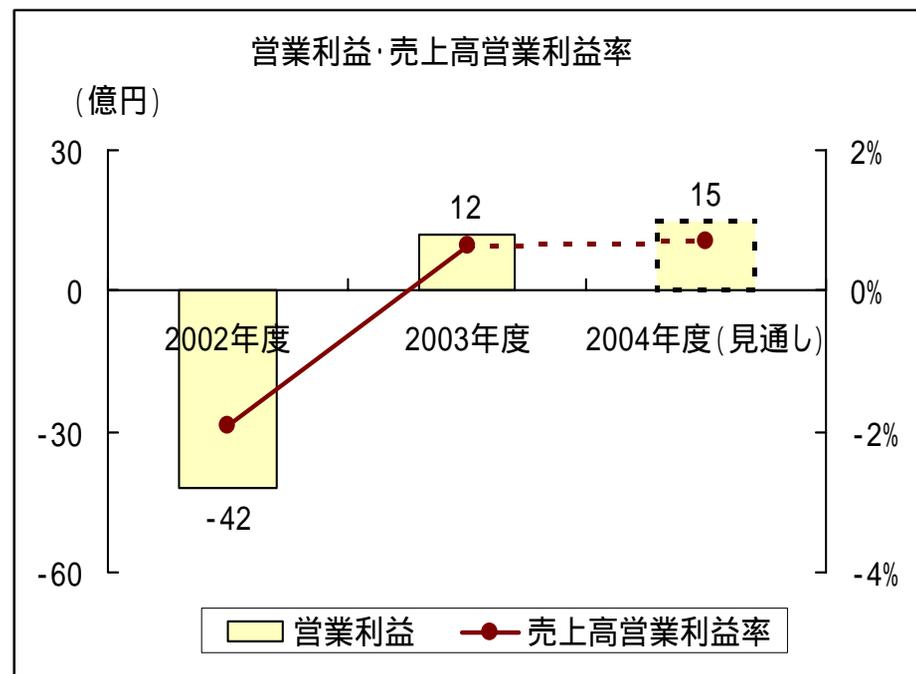
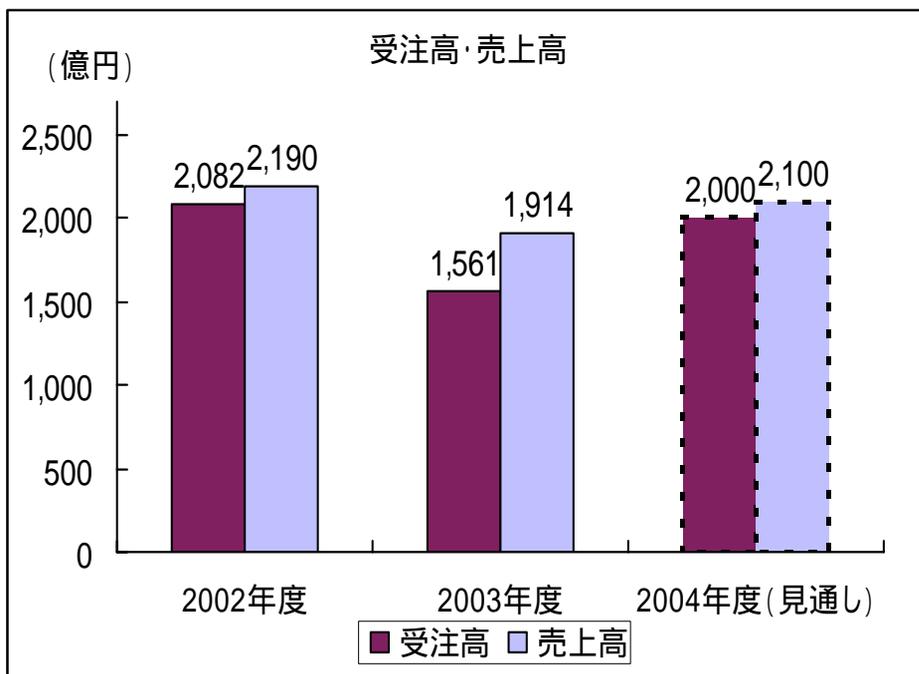
2003年度実績

- * 産業用ガスタービン等の売上減少による利益減
- * LNG船用蒸気タービンの納入減

2004年度見通し

- * 自社開発中型ガスタービン(L20A)の受注拡大
- * 産業用ガスタービン、LNG船用蒸気タービン等の売上増
- * 為替の影響及び産業用ガスタービン拡販投資負担増等による利益減

プラント・環境・鉄構



< 2003年度大口受注/売上案件 >

受注	売上
・インドネシア/アネカパタン向けフェニックス生産プラント(プラント)	・イラン/アンモニア・肥料プラント(プラント)
・フィリピン/ミンダナオ石炭火力発電所(プラント)	・ブラジル/Foltaleza向けCCPP(プラント)
・道路公団/第二東名 駒門橋(鉄構)	・明石市/二見浄化センター向け下水污泥焼却設備(環境)
	・福岡グリーンエナジー向けごみ焼却炉(環境)
	・山形県酒田市向け風力発電設備(鉄構)

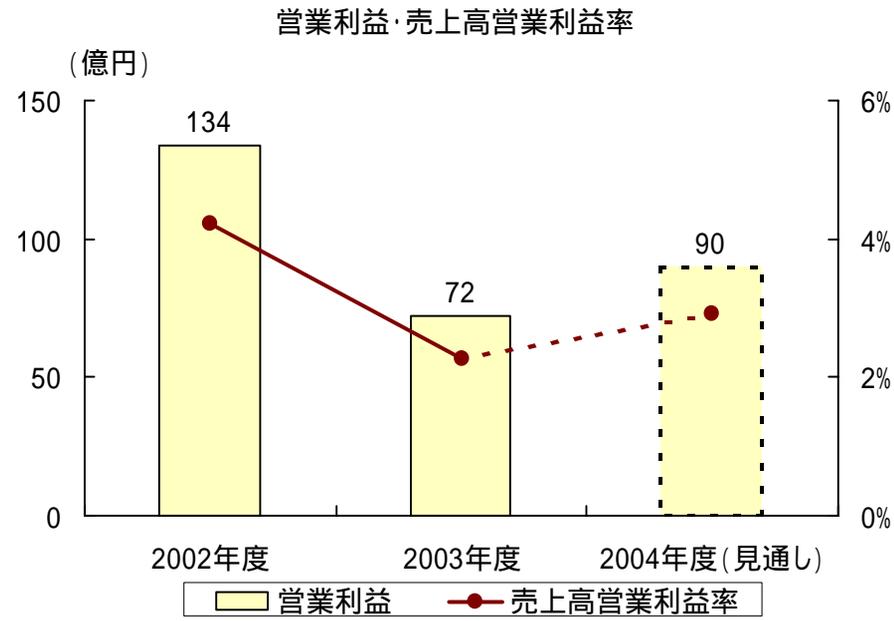
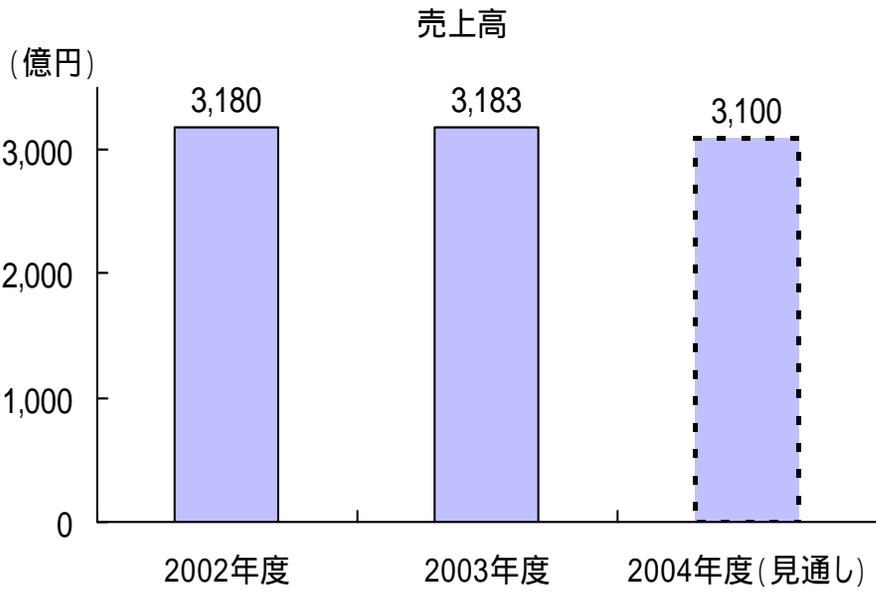
2003年度実績

- * 公共事業の低迷 国内向けごみ焼却プラント・橋梁等の大幅受注減
- * ごみ焼却プラントの売上減
- * 黒字転換・不採算案件の減少
 - ・選別受注案件の売上計上
 - ・固定費削減(1工場体制へ移行/人員削減)による事業体質強化

2004年度見通し

- * 国内公共工事案件の売上・利益減
- * 海外プラント案件の売上・利益増
- * 固定費削減施策の継続による黒字確保

汎用機



< コンシューマー向け製品 地域別売上台数・金額 >
(単位 台数:千台 / 金額:億円)

仕向地	2002年度		2003年度	
	台数	金額	台数	金額
国内	44	205	48	251
北米	216(99)	1,426	191(92)	1,278
欧州	73	496	79	612
その他	144	308	150	300
合計	477	2,435	468	2,441

2003年度実績

- * 二輪車・ATV等コンシューマー向け製品売上:前期並 (+) 欧州市場 (-) 米国市場
- * 為替の影響、販売促進費増加による収益悪化
- * 在庫の減少

2004年度見通し

- * 前期並の売上・生産計画
- * 末端価格の見直し、コストダウン、販売促進費削減による増益

注1) 二輪車、四輪バギー車(ATV)、多用途四輪車、パーソナルウォータークラフト(「ジェットスキー」)およびこれらの関連製品を含む。
 注2) 国内にはOEM供給による販売を含む。
 注3) 括弧内は二輪車分を示す。(内数)

研究開発費・設備投資・期末従業員数

(億円・人)

	2002年度 実績	2003年度 実績	2004年度 見通し
研究開発費 <small>注)</small>	309	310	300
設備投資	351	415	350
減価償却費	315	325	330
国内	23,519	23,957	23,400
海外	5,123	5,349	5,700
期末従業員数	28,642	29,306	29,100

注) 汎用機事業の改良研究費を含む。

2004年度セグメント別業績見通し

(億円)

	売上高		営業利益	
	2003年度 実績	2004年度 見通し	2003年度 実績	2004年度 見通し
船 舶	949	900	23	0
車 両	1,205	1,800	43	55
航空宇宙	1,737	1,800	42	40
ガスタービン・機械	1,364	1,400	45	30
プラント・環境・鉄構	1,914	2,100	12	15
汎用機	3,183	3,100	72	90
その他	1,247	1,200	30	30
合 計	11,602	12,300	222	260

2004年度前提レート
\$=105円/EUR=125円

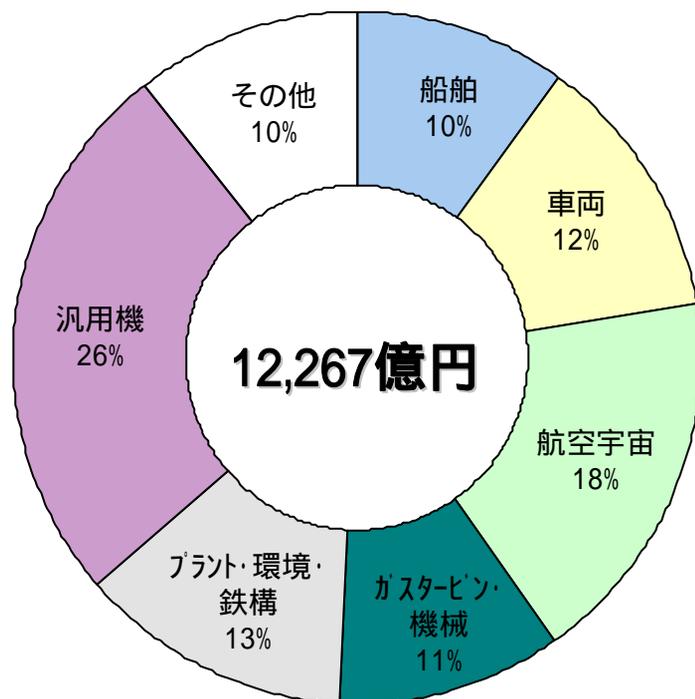
2004年度セグメント別受注高の見通し

(億円)

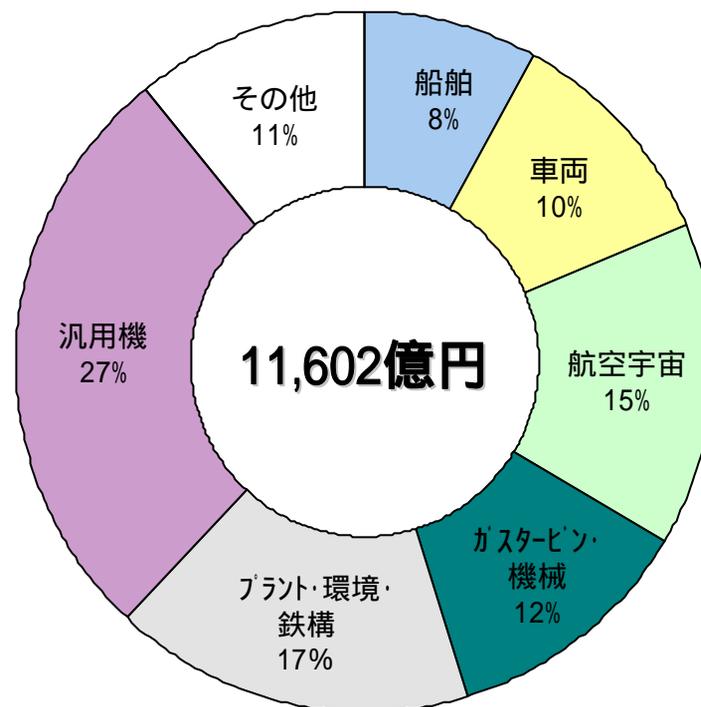
	受注高		
	2002年度 実績	2003年度 実績	2004年度 見通し
船 舶	1,109	1,237	900
車 両	1,766	1,533	1,800
航空宇宙	1,630	2,162	2,000
ガスタービン・機械	1,329	1,299	1,500
プラント・環境・鉄構	2,082	1,561	2,000
汎用機	3,180	3,183	3,100
その他	1,175	1,289	1,200
合 計	12,274	12,267	12,500

連結セグメント別の状況(2003年度実績)

受注高



売上高



Kawasaki, let the good times roll !

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。